

叙事詩イマカンに謡われる婚選び

于 晓 飛

はじめに

筆者は一〇〇一年にホジエン族の口承文芸、短篇イマカン「グジュクリ・ダド（美しき娘）」を採録し、テキスト化した。これは、婚選びの情景をうたつたものである。（ここに全篇を紹介し（末尾の資料にテキストとして提示した）、今まで採録されたイマカンに謡われる「婚選び」の競技について述べる。

一 短篇イマカン「グジュクリ・ダド（美しき娘）」 一一謡い手

謡い手の尤金良氏の両親は、シルゲ（現在ロシア側レネスカヤ）に住んでいたが、ロシア軍が侵入してきたため、一族二百人はドガアムール下流南側の哈魚岡（ハイガ、街津口から四キロの上流）に移住し、新しく部落を建てた。尤金良氏は一九三二年八月十五日避難先の街津口南山楊石匠拉子で生まれた。三歳のとき、叔父尤貴連からイマカンを習った。そ

とき父を、十歳のとき母を亡くした。九歳のとき山東省からきた漢族の人が村の子供たちに漢語を教えていたので、尤氏も少し習った。一九四二年日本軍が哈魚岡のホジエン族を三部落に強制的に移住させた。一九四四年の一年間尤金良氏は街津口の学校に通った。そこでは漢族の人が漢語を教え、日本人が日本語を教えていた。その後、義父と一緒に魚を捕つて生活をしていた。一九四九年新中国が成立すると、十八歳のとき、哈魚屯（村）の屯長になり、さらに街津口郷の郷長になった。その後、街津口の役人を務め、一九八九年五八歳で退職した。子供のころ母からホジエン語を習い、郷の役人のときホジエン語を使わなければならなかつたので、ホジエン語をはつきり覚えている。退職後、ホジエン族の民族の歴史資料と文化の収集整理と出版に尽力し、中国民間文芸家協会の会員で、「私の愛するホジエン魚米郷」、「ホジエン族雑記」、「ホジエン族心の声」などの著作がある。子供のとき、叔父尤貴連からイマカンを習つた。そ

の時の「カンタ・モルゲン」と「シタ・モルゲン」を漢語で書き、
「伊瑪堪（下）」（一九九九年）に発表している。

一一 概要

このイマカンは、二〇〇一年七月のホジエン族のウルゴン大会（四年に一回開催されるホジエン族全体のスポーツ・文化大会）で尤氏が謡つたものを録音し、文字で書きとめ、不明個所を大会期間中尤氏に確認して完成したものである。短いイマカンで、発表されていない。これまで発表されているイマカンと比較して次の点が異なる。

①大部分が謡いである。他のイマカンは、語りが多く、謡いは三分の一以下である。

②短篇である。他のイマカンの五分の一以下である。

しかし、イマカンの表現方法を良く備えている。あらすじは、以下の通りである。

アムール川辺の街デリカに美しい娘が住んでいた。ホジエン

の村や街の若者達が娘にほしがっていた。娘の父は、婿を選ぶために、二つの条件を出した。一つは、山に駆け上り、鹿四頭をアムール川に追い落とす事。もう一つは、九匹の鯉の目をヤスで一続きに貫き通す事であった。

大勢の若者が応募に来て、その様子を語り手は以下のよう
に謡つてゐる。

多くの村街の男たちが喜んで来るが泣きながら帰る。
娘を想い眠ることが出来ない。働くにも力が出ない。
昼夜、美しい娘を想う。

ハリララ ハリラ ハリララ ハリラ

昼夜、想う。

美しい娘の父は、賢い老人で知恵がある。

だから賢い老人は言う。

娘を娶りたい者は私の言うことを聞きなさい。

私の言うことを聞きなさい。

私の娘を娶りたければ好い考え方（条件）がある。

ハリラララリラ ハリララ

ハリララ ララ ハハラ

ハリララ ハハラ

一つの事は、デリカの神山の頂に一時間の内に登り、三頭の鹿を追い山の上からサハリン江へ追い落とせたら、

娘を与えよう。娘を与えよう。

ハリララ ハリラララリララ
ラリラララ ハリララ ハリラ

娘を与えよう。

カカカ（聴衆が囁く声）

第二の事は、デリカの川で一時間の間に九匹の鯉魚を十八の目をヤスで真中を突き通せ。

娘を与えよう。娘を与えよう。

力 力 力 力 (聴衆が囁く声)

ハリララ ハリララ、ハリララ ハリララ

ハリラ ハニララ ハニララ ハレイ

この二つを出来たものには、誰でも娘を与えよう。

ハ、誰にでも娘を嫁にやろう。

力 力 力 力 力 (聴衆が囁く声)

ホジエン族は、狩猟・漁業・採集で生計を立てていた。狩の技が優れている人、漁の技が優れている人が尊ばれていた。

凌純声によれば、一九三〇年代のホジエンの結婚年齢は、早ければ十二、三歳、普通十七、八歳で、男の父母や媒酌人が娘の家に行き、同意が得られれば、直ぐ男は娘の家に泊まる。求婚者が多いときは、娘の兄弟や父と技比べをした。相撲、スキー、弓矢、獣や魚を捕らえるなど、狩猟や漁業に密着した技比べであつた〔凌純声一九三四、一二六一二七頁〕。

イマカン「グジュクリ・ダド」は、第一の条件を一人の若者が達成した所で婚選びが終っている。尤氏に確認したが、「どちらか一つの条件を達成できればよいのだ」とのことだ。中途半端な感じもする。次に、既に採録されているイマカンについて、婚選びを調べた。

二 既採録十四篇のイマカン

イマカンの筋は、主人公はモルゲン（英雄）で、女主人公はダド（娘）である。モルゲンが仇を討ちにいく途中多くのダドと結婚する。ダドの助けを得て、怪獣を退治し、死者の国から生還し、仇討ちを達成する。それは、ほぼ前者十四篇に共通する内容である。特に、美しいダド（娘）の婚選びの競技であり、モルゲンが、競技に勝つて、ダドと結婚する場面は、イマカンを聞く聴衆が最も興奮する内容の一つで、聴衆は興奮して「カカカ」と囁し立てる。

ここでは、前者十四篇のうち九篇に謡われている婚選びの条件を取り上げ、この内容が意味するものを探して見たい。

二一 イマカンと婚選びの条件

イマカンのモルゲンが結婚を申し込むと、父親や兄弟が婿を試すため、いろいろな難題をだし、できたら許可する。また親が娘の婿を選ぶため、条件を提示し、それを達成した人を婿にする競技会の形式もある。それらの条件を整理して、表に示す。

表 婿の条件または婿選びの種目 [黒龍江省民間文芸家協会 1998,1999]

モルゲンの名	上段：妻の名 下段：条件提出者	条件・婿選びの種目
シャンソウ	フラン フラン自身	金の鹿を射る。
	ヘジン 父の条件	①底のない桶で山頂に水を汲み上げる。(フランが桶底に変身) ②深淵の独角龍を捕まえる。(ヘジンの金の鎖を借り龍を捕らる。)
	兄嫁ウンジン 親の条件	①800歳 1500キロの怪獣ウルグリ ②1000才の大白鳥 ③400Kgの猪を射る。
マルトウ	イチエ 養母の条件	①石の虎を持ち上げる ②ウスリー川の金の鯉を刺す ③南山の大鷲を射る。
アガデ	ハイジン 母の条件	①3日内に1矢で3羽の雁を射る(ハイジンが矢を貸し、神のヤスの在り処を教える)。 ②1000年のチョウザメを捕らえる。
	マンゲン 父の条件	①3本の矢で、すべて銭の穴を射通す。 ②500キロの大きな石を持ち上げる ③兄を3回投げ倒す。
シャルチュウ	ウエンジン 兄嫁の条件。	生まれる前に親が結婚を決めた。兄嫁は兄を3回投げ飛ばせば、結婚を許可するというが、シャルチュウは幼く勝てそうもないでの、ウエンジン・ダドが兄との格闘を止めさせた。そして、ウエンジン・ダドはシャルチュウを世話して10数年一緒に暮らす。
	バルズン 父の条件	①一矢で、トロ上の15個の鏡、9個の針穴、シャーマンの帽子を射通し、最後にトロ柱も射通す。 ②飼い牛が石となって動かなくなつた。この500キロの石を動かす。 ③洪水で陸に押し上げられた舟を戻す。 ④30年前金の鉛を刺したまま逃げた大魚から鉛を取り返す。 ⑤矢が降る岩山から、金のスキーと銀の杖を取ってくる。 ⑥毒蛇の頭上についている小さい金の人形を持ち帰る。
シルダル	バイジン 親の条件、婿選び	①馬で速さを競う。15キロ走。②馬に乗って3本の矢で銅の輪を射る。
アントウ	アジェンの娘 父の条件	①南山の大鷲 ②東南に金の鮭 ③西南に鹿を捕まえる。甥サラチウ・モルゲンに譲る。
シャルン	マトウ 親の条件、婿選び	金の魚飾りのネックレスを1000年修行した怪魚アオハからとりもどす。途中であったお爺さんに貰った金の斧で退治する。アオハ退治に失敗した挑戦者ムチュ・モルゲンが、シャルンに再挑戦。 ①100歩離れたところから3回矢を射て、3個の銭の穴を射通す。 ②200キロの石を持ち上げる。 ③3尋の大きさの怪獣ウルグリを殺し持ち帰る。
マンガモ	ハオハン 父の条件	①トーテム竿のある銅鏡に、3矢射て3矢当てる。 ②怪獣ウルグリを退治する。
ムジュリン	シエンニ シエンニ自身	娘は、自分と戦って自分を負かした人の嫁になると条件を出す。

一一一 婦選びにおける情景

以下に、各種のイマカンに謡われる婦選びの粗筋を取り上げて見る。

(a) シャルチュウ・モルゲン

シャルチュウ・モルゲンが遠征途中、バイエン・マファ、ママ（ホジエン語 bayen mafé, mama。裕福な老夫婦の意）が明日から婦選びの競技を開催することを聞いて、バイエンの家に出かけた。そこには挑戦者が沢山いた。バイエン・マファは、狐皮の服をして庭の中央に机を置き、椅子に座っている。机と椅子の角は金で装飾されていた。マファは、婦選びの条件を謡つた。

(謡)

皆さん、今日婦選びをします。

私が出した条件を叶えた人は、

娘の婿になります。

第一の条件は、弓の技です。

トロ（神竿。後述）の上に九本の針と、シャーマンの帽子と、

十五枚の銅鏡と、

最後に雲まで届く柱が一列に並んでいる。

条件は一矢で、十五枚の銅鏡を射抜き、

九本の針の穴を射抜き、

シャーマンの帽子を通して、最後に柱を射る事ができること。

ハリラ ハハラニ ハリラー

第二の条件は、力の技です。

私が若いとき、三歳の牛を使って畑を耕していたが、牛は突然倒れ、死んで石になった。

その石牛を担ぎ上げ、庭まで運ぶこと。

ハリラ ハハラニ ハリラー

第三の条件も、力の技です。

私が若いとき使っていた船が洪水で流され、柳の森に数十年取り残されている。

それを川に押し戻すこと。

ハリラ ハハラニ ハリラー

第四の条件は、勇敢さです。

私が若いとき、エンジンつき船に立ち、鉛で魚を獲つていた。

川の波風が大きく、深いところで、大魚に鉛を打つた。しかし、綱を切られて、金の鉛を持っていかれた。

それを取り返すこと。

ハリラ ハハラニ ハリラー

第五の条件は、冒險です。

西の方角に二〇〇丈の岩山がある。

そこに、私の金のスキーと銀のストックを置いてある。そこへ辿り着くまでに、四十余りの伏せ弓の罠があり、

人を寄せ付けない。

罠で傷つかずに、金のスキーと銀のストックを
ここへ持ってくること。

ハリラ ハハラニ ハリラ

第六の条件も、死の恐怖を耐えること。

南の山に、大蛇がいて、舌で触られると人は死んでしまう。

その大蛇の頭の上に、金の小さい人形が乗っている。

その金の人形を持って来ること。

これらの六つの条件を全て達成した人に、娘を嫁にや
ろう。

〔黒龍江省民間文芸家協会一九九八シヤルチュウ・モルゲ
ン五五二一五五五頁〕

多数の挑戦者の中で、北海から来たグドリ・モルゲンと南海
から来たジュウホウ・モルゲンは、第四条件まで挑戦するが、
全て失敗する。シヤルチュウのみが、全ての条件を達成する。
しかし、娘バルズンは、「親の出した条件を満たしてもだめだ。
自分の作った帽子を投げて、頭にのつた人を夫にする」と言う。
帽子を投げると、シヤルチュウの頭にはまり、結局シヤルチュ
ウが選ばれた。

(b) シャルン・モルゲン
シャルンは、姉サニ・ダドに教えられる。

(謡)

松花江の川辺にあるイエラグ村の、
シャーマン、バイエン・マファの娘モウトウ・ダドは

今年十八歳です。今婿を探している。

（語り）
シャルンは二十歳になつたから、挑戦しなさい。

バイエン・マファは、非常に金持ちで、大切に娘を育て
ている。金の魚の飾りを作らせ娘に与えた。娘はそれを大
事にしていたが、川遊びをしているとき、舟が揺れ、その
金の魚飾りを水中に落としてしまつた。父親は、これを機
会に婿を探すことにした。婿の条件は、金の魚飾りを探し
出すことであった。三人の若者が挑戦する。川の深淵に住
む怪魚アオハの胴体に金の魚飾りがさがっていたが、怪魚
の剣のような刺で大怪我をして、金の魚飾りを取り返すこ
とができるなかつた。

シヤルンは、婚選びに挑戦するため村へ行く途中、神鷹コリに変
身した姉に、怪魚を退治するには、西の山に住む老人マファから金
の斧を借りるように勧められた。シヤルンは、マファに会い、一つ
飲むと牛一頭の力が出る仙薬三個をもらい、金の斧を借りた。ただ
し、人を殺してはいけない。義兄弟になりなさいと言われる。
借りた金の斧で、怪魚アオハを退治し、金の魚飾りを取り返
す。しかし、前に挑戦に失敗した三人が不平を言い、三人の一

人ムチュウ・モルゲンがシャルンに挑戦し、謡う。(抄訳)

(謡)

ハリラ ナニ ハリ ガイガ

今日は、シャルンは、勝つた。

再度、貴方に挑戦したい。

もし貴方が私に勝つたら、心から敬服します。

他の二人も挑戦し、条件を謡う。

(謡)

ハリラニ ハリハレイ。

シャルン・モルゲン、貴方は水中では強いかもしねな

いが、

地上で貴方と戦いたい。

三つの条件ができたら、結婚を認めよう。

第一の条件は、百歩離れたところから、

三矢を射て、三つの穴あき銭を射通す。

第二の条件は、二百キロの石を持ち上げる。

第三の条件は、三尋の大きさのウルグリ(熊)を狩り

背負って持ち帰る。

〔黒龍江省民間文芸家協会一九九九シャルン・モルゲン
二六五二一八四頁〕

結局、シャルン・モルゲンのみが三つの条件を達成すること
ができた。

(c) シャンソウ・モルゲン

シャンソウ・モルゲンとフラホン兄弟が一緒に、敵バイル・モルゲンと戦った。バイルにシャンソウとフラホン二人は、大きな樹に吊り下げられ、動けなくなつた。妻フランと兄嫁ウンジンが助けようとしたが、できず、ウンジンの友でシャーマン能力の高いヘジン・ダドに助けを求めた。彼らは、ヘジン・ダドに助けられて、危機を脱出した。その後、シャンソウは、ヘジンに礼を言い、ヘジンを妻に貰うために、ヘジンの父母の所へ出かけた。そのとき、ヘジンの父が条件を出した。

(謡)

ハリラ ハリラ レイー

シャンソウ・モルゲン、よく聞きなさい。

私の娘は、まだ婚約していない。

嫁にしたければ、二つの条件をできなければならぬ。

第一の条件は、底がない桶で水を山頂に汲み上げる。

第二の条件は、深淵にすむ独角竜を捕まえて、

肉を切り取り、神に捧げる。

これができれば、嫁にやろう。

〔黒龍江省民間文芸家協会一九九八シャンソウ・モルゲン
一八〇頁〕

第一の条件は、妻フランが桶の底に変身し、水を汲み上げることができた。第二の条件は、ヘジン・ダドの助けが必要であつ

た。ヘジンが首につけている金の鎖でのみ、竜を捕まえることができる。シャンソウは、ヘジンに頼み、やつと金の鎖を貸して貰う事ができ、竜を捕らえて帰ってきた。ヘジンは、竜の祖先、鼻先の肉、舌の一部を切りとり、神に捧げた。竜は、深淵に戻された。ヘジンは、シャンソウの妻となり、遠征と一緒に出かけた。

二一三 条件の要約

娘に結婚を申し込むと父親などが出す条件、競技会の種目は、次のように分類できる。

- ①狩猟の技・金の鹿、大白鳥、大猪、大鷲、鹿、一矢で三羽の雁を射る。
- ②漁業の技・金の鯉、金の鮭、チヨウザメ、大魚を捕まえる
- ③力技・石の虎、石となつた牛、石像を動かす。
- ④矢の技を競う。
- ⑤相撲・嫁の兄弟と相撲して勝つ。
- ⑥馬術・馬で速さを競う、流鏑馬
- ⑦怪獣怪魚退治・怪獣ウルグリ、毒蛇、怪魚アオハ、独角竜を退治する。
- ⑧魔法・底のない桶で水を汲む。

ホジエン族は、狩猟、漁業、採集で生活していたので、それに関連した技が優れていたものが尊ばれた。イマカンは、狩猟の野営地、漁業の網場で夜歌われた。イマカンを伝承して教える場所も漁業中に歌われた。鹿・猪・雁・白鳥や魚は、年功を

経たり、巨大であつたり、金であつたりして誇張されている。モルゲンとモルゲンが戦うときは、武器を使用せず、素手で格闘し、投げ殺す。女性同士が戦うときは、神鷹コリとなつて戦う場合が多いが、魚をとる技で勝敗を決める話もある。

二一四 シャーマニズムの影響

シャルチュウ・モルゲンの中で、バルズン・ダドの父がだした条件の一つ「一矢で、トロ上の十五個の鏡、九個の針穴、シャーマンの帽子を射て、最後にトロ柱を射る」は、シャーマンになる儀式でもある。シャーマンは、銅の鏡を胸と背に下げる。胸の鏡は、太陽を表わし、背の鏡は、月を表わす。九や十五は、神聖な数と見なされている。シャーマンの帽子は冠の形をしており、鹿の角が付けられている場合がある〔凌の図版図一八三一九〇〕。最も位の高いシャーマンの帽子は、十五に分かれた鹿の角である〔凌の図版図一八四〕。

なおトロは、シャーマンの家の西側に建てられた柱で、普通二本で、中央の柱が一番高い〔凌の図版図三一〇〕。柱の先には、鳥や獸などの像が乗せられており、守護神セウンとして祭られている。イマカンの中のモルゲンは、多くの妻を娶る。アンドウ・モルゲンは九人の妻を、シャンソウ・モルゲンは六人の妻を、シルダル・モルゲンは六人の妻を持つよう、複数の妻を持つ。妻は、神鷹に変身でき、モルゲンの危機を救い、敵討ちに助勢し、モルゲンの敵討ちを成功に導く。中国の研究者たちは、「妻たちは、シャー

マンの守護神であり、モルゲンが多くの守護神をもてば、モルゲンのシャーマン能力が増すからと解釈できる」といつている。

むすび

以上のイマカンの内容からみると、婿選びで競われる技は、狩猟漁業に密着したもので、イマカンは、昔のホジエン族の風俗習慣を伝えている。また、男性が女性の家で労働して、認められれば娶ることが出来る母系社会の名残を示していると思われる。

一夫多妻は、父系社会であるが、現実の意味合ひより、シャーマン教の守護神や助手を意味していると言われている。今後、周辺の民族の物語等と比較検討することが必要である。

文献

凌純聲一九三四
『松花江下流的赫哲族』(南京中央研究所)、上

海文芸出版社

凌純聲一九三四《松花江下流的赫哲族——圖版》南京中央研究
所、上海文藝出版社

黑龍江省民間文藝家協會一九九八 黑龍江流域民族民間史詩敘事
詩叢書「伊瑪堪」(上)

黑龍江省民間文芸家協會一九九九 黑龍江流域民族民間史詩敘事
詩叢書《伊瑪堪》(下)

黑龍江省民間文藝家協會一九九〇黑龍江民間文學（二十一）

定宣庄——满族的妇女生活与婚姻制度研究、一九九九北京大学出

赫哲族文学 北方文芸出版社

片衣

徐昌翰·黃任遠一九九

資料 テキストと注釈

(a) 表記法 テキスト化で使用した文字は、母音 α ι v ϵ \circ 、半母音の γ 、及び下表の子音である。

流音	摩擦音	鼻音	破擦音	破裂音	無氣			
		有氣				兩脣音		
f	m		p	b				
l		n	t	d		齒茎音		
					s	齒茎音		
							後部齒茎音	
		s		c	j			そり舌音
		sy						
r	sy			c	j			
		x	ng	k	g		軟口蓋音	

(b) ホシュン語 第一行のホシュン語で 筆者が提案した表記法を用いて書いてある。

(c) 日本語訳 第一行のホジエン語表記に對して、第二行に日本語訳を、音読して意味が通るようにつけた。一部単

語対応の訳になつていない。

(d) 脚注 番号を付けて、注釈をつけた。主に、尤氏が確認時に挿入した部分などである。

イタリックで表示してある。

(f) テキスト

yimakan "gujikuli dedu"
イマカン「美しい 娘」

xelei xelei jule Deriki yioxong-duleni eme gujikuli dedu bi-ren.
ハレイ ハレイ 昔 デリカ 街に 一人の 美しい 娘が いた。

deuji-ni yimane-keci sanging yisale-ni siun-keci garfe-mi genggin
彼女の顔は雪のように 白く 目は 太陽の様に 照り 輝いている。

bei-ni dili-ni xergi-le-siki yicici-kisi begdele-ni nale-ni saktol eskuli gujikuli eskuli gujikuli
体は 頭から 下まで 見ると 脚と 手は 全て 大変 美しい。大変 美しい。

xelilala xelilala xelina xexelei xelila xelilala lalila xelila la
ハリララ ハリララ ハリナ ハハレイ ハリラ ハリララ ラリラ ハリララ

ejile Yirige ⁽¹⁾ xotong-ni ui-kini Sengaku Bachen Kinaren Etu Deriki Gajjin Xai
下流はイリガ 村から 上流は センガクバツアン キンダリエト デリカ ガイジンハイ

Jialigei Marxong Cisia Lasu xotong ju xotong juan yioxong asikte xaxa gulun
ジアリゲイ モーホン チチハラス 村 二つの村 十の 街の 若い 男達

saktol gujikuli dedu derefu-keci-re derefu-keci-ren xelilala xelila lala lala xelilala xelila
皆 美しい娘を 嫁に貰いたい 嫁に貰いたい。ハリララ ハリララララ ハリララ ハリラ

ei-yini eme-ren tumaki ene-ren Deriki ba-le (gujikuli dedu)⁽²⁾ yicici-xati xotong-du yilan
この日 来て 明朝 帰る。デリカ村へ 美しい 娘を 見にくると 村に 三つ

gialan jo-ni yilan naxan yini yini dolebu dolebu jalun jalun marxong
部屋の大きな家で 三つのオンドルがある。日 日 夜 夜 多く 多く 大勢の人が

eme-xen ei you yici-rcien (emeke vicile-kini)⁽³⁾ acin de aci-syen
来た。(娘は) ⁽⁴⁾これを も 見ない。(別を 見ても) ちっとも 気に入らない

xelilala xelila xelilala xelila la xexelila
ハリララ ハリラ ハリララ ハリララ ハハリラ

geren xotong yioxong xaxa gulun agdene-mi eme-re songwe-mi ene-ren
多くの 村 街の 男たち 喜んで 来るが 泣きながら 帰る。

enike goni-ren afine-mi mete-syen. uile-mi kusule-syen
娘を 想い 眠ることが出来ない。働くにも 力が出ない。

yini dolebu gujikuli asen dedu goni-ti xelilala xelila xelilala xelila yini dolebu goni-ti
昼夜 美しい 娘を 想う。ハリララ ハリラ ハリララ ハリラ 昼 夜 想う。

gujikuli dedu ami-ni fakesi mafa kuimali tuinami fakesi mafa xesu-ni
美しい 娘の父は、賢い 老人で 知恵がある。だから 賢い 老人は 言う

asen derefu-keci-ti gulun mini xesu-yi doldi-yiso mini xesu-yi doldi-yisou
娘を 嫁りたい 著は 私の言うことを 聞きなさい。私の言うことを 聞きなさい。

mini asen-yi xite-yi derefu-keci-ki ayi baitre bi-ren
私の 娘を 嫁りたければ 好い 考え(条件)がある。

xelilala lalila xelilala xelilala lala xexela xelilala xexela
ハリララ ラリラ ハリララ ハリララ ララ ハハラ ハリララ ハハラ

eme baite Deriki mafa wurken guguda dolani eme casa-duleni (toketi-re)⁽⁵⁾
一つの事は デリカ 神 山の 頂 に 一 時間の内に 登り

yilan komake-wo bodo-mi wurken uile-jini Saxalin mangme-le furkuku-re lene-si asen
三頭の鹿を 追い 山の 上から サハリン 川へ 追い落とせたら 娘を

bake-yisi asen bake-yisi xelilala xelila lalalilala lalilalala xelilala xelila asen bake-yisi
得る。 娘を 得る。 ハリララハリララリララリララハリララハリラ 威を 得る。

ke ke ke
カ カ カ (聴衆が囃す声)

ju baite Deriki curake-duni eme casa-du uyun xarteku yimaxa
第二の事は デリカ 川で 一 時間の間に 九匹の 鯉 魚を

juan jakun yisale-ni jobgu-ji tolekun-ji kene-ro asen bake-yisi asen bake-yisi
十 八の 目を ヤスで 真中を 突き通せ。娘を 得る。 娘を 得る。

ke- ke ke ke
カ カ カ カ (聴衆が囃す声)

xelilala xelilala xelilala xelilala la xelila xenilala la xenilala xeleike
ハリララ ハリララ ハリララハリララ ラ ハリラ ハニララ ハニララハレイ

(ni jule odi-xesi ni asen baka-ren xe ni asen derefu-ren)⁽⁶⁾
誰でも二つを 出来たものは、誰でも 娘を 得る ハ、 誰でも 娘を 嫁にする

ke ke ke ke ke
カ カ カ カ カ (聴衆が囃す声)

mini xite-yi ayi xaxa-du bu-yi xelilala xelila xelilala lala xelila
私の 娘を 好い 若者に 与える。 ハリララ ハリラ ハリララ ラ ハリラ

mini xite-yi ayi xaxa-du bu-yi xeninana xenina xeninana xenina
私の 娘を 好い 若者に 与える。 ハニナナ ハニナ ハニナナ ハニナ

erun xite-du bu-syi-yi bu-syi-yi xelilala xelila xelilala lala xelilala
弱い 若者には 与えない 与えない。 ハリララ ハリラ ハリララ ラ ハリラ

erun xaxa-du bu-syi-yi xelilala xelila
弱い 若者には 与えない。 ハリララ ハリラ

julu xotong juan yioxong asen bake-keci gulun sunjia yini-duleni saktol yisia-xen
二つの村 十の 街で 娘を 欲しい 者は、五 日の内に 皆 来た

xelilala xelila xenilala xelilala xelila eyini niun bia niun yini
ハリララ ハリラ ハニララ ハリララ ハリラ この日は 六 月 六 日

cilan ba ye tukusu de anci ayini ayi yini siun degde-mi garfe-mi deriu-xen
青々とし 空 雲 もない。よい日 よい 日 太陽が 昇り 照らし 始め、

edien anci mangme bulku-keci bi-ren xelilala lalilala xelilala
風もなく 川は 鏡の様に静か だ。 ハリララ ラリララ ハリララ

mangme bulku-keci bi-ren
川は 鏡の様に静かだ。

ke ke ke ke
カ カ カ カ (聴衆が囁く声)

sium degde-xen gelun xaxa yisia-xen gelun xotong yioxong guleni yicica-mi yicici-mi eme-xen
太陽は昇り 男たちが 着いた。各々の 村や 街の 人たちが 見に 見に 来た。

Deriki yioxong jo-ni saktol jalun da-xan xelilala xelila xelilala la
デリカ 街の 家は 皆 一杯になつた。ハリララ ハリラ ハリララ ハリララ

xelilala lala xelila xexeli Deriki wurken xergi-leni marxong gulun e-duyi alci-ren
ハリララ ララ ハリラ ハハレイ デリカ 山の 麓に 多くの 人達が 此処待つてゐる。

xelilala xelila xelilalala xelilalala xelila
ハリララ ハリラ ハリララ ハリララ ハリラ

ke ke ke ke
カ カ カ カ (聴衆が囁く声)

Deriki yioxong tuosian xafan mafa yixan guyan-yi jafu-re eme-xen
デリカ 街の 村長 ハフ マファ 牛の 角笛を 捄んで 来た。

xafan mafa jiari-mi xudale-mi deriu-xen geren gulun ayiji doldi-su
ハファンマファは 誠い 語り 始めた 皆 好く 聞け。

bi yilan madan fuligi-kini asen xesuci gulun xunji wurken toketi-ro ui-siki toketi-ro
我は 三回 吹くから 娘を 願う 者は すぐ 山に 登れ 上へ 登れ。

emedan casa-duleni jule toketi-re yilan komake-wo bodo-mi Saxalin mangme-leni
一 時間の内に 前へ 登り 三頭の 鹿を 追い サハリン 川へ

furku-kune-si-ni odi-ren morgen da-ren gulikuli dedu-wo bu-yi
追い落せば 完成だ。モルゲンになる。美しい 娘を 与える。(お前は)

asen bake-yisi asen bake-yisi xenilala xenina xelila xelilala
娘を 得る。娘を 得る。 ハニララ ハニナ ハリラ ハリララ

asen sin-du bu-yi xelila xelei xelilalala xelilala asen sin-du bu-yi
娘を あなたに 与える。ハリラ ハレイ ハリララ ハリララ 娘を あなたに 与える。

emedan fuligi-kiyi xai didi dada dada ayi asikte ayi ayi asikte gulun kusun-le-ro kusun-le-ro
一回 吹く ジジダダダ 若者たちよ 力を出せ。力を出せ。

xelilalala xelilala xelilala lalila xelilala asikte gulun kusule-ro
ハリララ ハリララ ハリララ ラリラ ハリララ 若者たちよ 力を出せ。

ju madan fuligi-kiyi dadadida dadai dadi xenilala la xenina lala xenilala
二回目 吹く ダダジダ ダダ ダジ ハニララ ラ ハニナ ラ ハニララ

yilan madan fuligi-kiyi dada didada dadadada dididada dadi da
三回目 吹く ダダジダダ ダダダダ ジジダダ ダジジダ

xunji toketi-ro xunjii toketi-ro xunjii toketi-ro xelilala lalila xelilalila xunji toketi-ro
すぐ 登れ。すぐ 登れ。すぐ 登れ。ハリララ ラリラ ハリラリラすぐ 登れ。

alang tawen xuli-mi asikte gulun wurken ui-siki-ni toketi-mi deriu-xen
アラン 百人 以上 若者達が 山の 上に向かって登り 始めた。

yisia-mi deriu-xen de bi-ren toketi-mi dulian-dule yisia-xen de bi-ren
村にやつとついた者もいる。登り途中まで着いた者もいる。

xuni duni ui-siki toketi-mi mete-syen xergi-sidu eu-rgi mete-syen da-xan de bi-ren
まだそこで上に登ることが出来ず 下へ降りることも出来なくなった者もいる。

eme-rgi-mi de mete-syen exele mo-du loko-re jafe-re bi-ren de bi-ren
進むことが出来ず 疲れて木に寄りかかっている者もいる。

xelilala xelila xelilalila xelilala lala xelilala xexeli xealei
ハリララ ハリラ ハリラリラ ハリララ ララ ハリララ ハハレイ ハアレイ

ke ke ke ke
カ カ カ カ (聴衆が囃す声)

eme casa yisia-cen-duni Lasu xotong kusun morgen urin-sa-keci bi-re duin komake
一 時間に到達しない時 ラス 村の 力持ちのモルゲン一時間位のとき 四頭の鹿を

wurken uileni mangme jap-kala xergi-jini bodo-mi jolo-ji nodu-mi putong putong
山の 上から 川の 岸 下へ 追い 石を 投げ ポトン ポトン

putong putong Saxalin mangme-leni furku-kune-xeni esi esi gulun xergi-si
ポトン ポトン サハリン 川へ 跳ねさせた。今度は今度は人達麓で

yici-keci-yi gulun muke-le elepsi-mi komake-wo jap-kala-ni nale-le tate-rgi-xeleyi
見ていた 人達は 水を 飛び込み 鹿を 岸に 手で 引いていった。

xafan mafa fuligi-mi deriu-xen xafan mafa fuligi-mi deriu-xen da da da
ハファンマファ 吹き 始めた。ハファンマファ 吹き 始めた。ダ ダ ダ

Lasu kusun morgen odi-xen geren gulun agdene-mi auli-mi furku-mi
ラスの力持ちのモルゲン成し遂げた。人々は 大喜びし 叫び 踊る。

xeninana xenina xeninana xenana xexeninana xeninana
ハニナナ ハニナ ハニナナ ハナナ ハハニナナ ハニナナ

ke ke ke
カ カ カ (聴衆が囃す声)

eren gulun agdene-mi furku-mi deriu-xen
人々は 大喜びし 踊り 始めた

xelilala xelila xelei xelilala xelila xexeli xelei xelila
ハリララ ハリラ ハレイ ハリララ ハリラ ハハレイ ハレイ ハリラ

ke ke ke
カ カ カ (聴衆が囃す声)

Deriki wurken-ni guguda guguda ayi xaxa asen bake-xen
デリカ 山に 高く 高く 好い 男は 娘を 得た。

Deriki wurken-ni you guguda guguda ayi xaxa asen bake-xen
デリカ 山に 更に 高く 高く 好い 男は 娘を 得た。

kusunki morgen komake bodo-xen wurken uileni mangme-le furku-kune-xen
力持ちの モルゲンは 鹿を 追った。 山の 上を越え 川を 跳ばせた。

xeninana xenina xenina xenina xelei kusunki morgen ayi asen bake-xen
ハニナナ ハニナ ハニナ ハニナ ハレイ 力持ちのモルゲンは好き 娘を 得た。

Deriki wurken-ni guguda guguda ayi xaxa asen bake-xen
デリカ 山に 高く 高く 好い 男は 娘を 得た。

Deriki wurken-ni guguda you guguda ayi xaxa asen bake-xen
デリカ 山に 高く 更に 高く 好い 男は 娘を 得た。

kusunki morgen komake bodo-xen wurken uileni mangme-le furku-kune-xen
力持ちの モルゲンは 鹿を 追った。 山の 上を越え 川を 跳ばせた。

xelilala xenina xeninana xeninala xeni na xenina
ハリララ ハニナ ハニナナ ハニナラ ハニ ナ ハニナ

kusunki morgen gujikuli dedu derefu-xele xenina xenina kusunki morgen
力持ちの モルゲンは 美しい 娘を 嫁にした。 ハニナ ハニナ 力持ちの モルゲンは

ayi asen bake-xeni asen gulun jiari-mi deriu-xen
好き 娘を 得た。 娘たちは 歌い 始めた。

xeninana xenina xeninana xenina xeninana xenina xeninana xenina
ハニナナ ハニナ ハニナナ ハニナ ハニナ ハニナ ハニナナ ハニナ

komake furku-xan sengkeli-wo gade-xen Lasu morgen katan Deriki wurken-me toketi-xen
鹿が 跳ねた 香草を 摘んだ ラスの モルゲンは有能だ デリカ 山を 登った

xeninana xenina xeninana xenina fuligian yilga gade-xel sengkeli-wo marxon
ハニナナ ハニナ ハニナナ ハニナ 紅い 花を 摘んだ 香草を 沢山

gade-xele ayiji ba erde siun fuligian siun ayiji ba erde siun marxon
摘んだ。 好い 気 朝の 太陽 紅い 太陽 好い 天気 朝の 太陽が 一杯に注ぎ

xelinana xenina xeninana xenina xeninana xenina xeninana xenina xexenina xenina
ハニナナ ハニナ ハニナナ ハニナ ハニナナ ハニナ ハニナナ ハニナ ハハニナ ハニナ

(saxalin mangme-le wurken yalu-ni) (na furku-yini mangme jiari eu-keci
サハリン 川へ 山へ 馬に乗り 地は 踊る 川は 謡い流れるように

dilgane-ren) (Deriki yioxon gulun ni de) (niani gujikuli dedu agdene-mj)⁽⁷⁾
音を立てて流れる デリカ 街の 人は 誰でも あの 美しい 娘を 喜び

(謡い終わり、語り始まり)

fakesi mafa tiaxele-ren kusunki morgen agdene-ren
巧みな老人は、喜び 力持ちの モルゲンは喜ぶ

(語り終わり、謡い始まり)

xeninana xenina xeninana xenina xeninana xenina xenina
ハニナ ハニナ ハニナ ハニナ ハニナ ハニナ ハニナ

alei
アレイ

(謡い終わり、語り始まり)

tuinami gelun gulun sengkeli marxonk xacin yilga-wo sunjia niun borku saktol gadi-xel
そして 人達は 香草を 沢山の 種類の 花を 五 六 色 全て 集め

gaji-rgi-ni temenken-duni duin-jap-kala-duni te-rgi-re gulikuli dedu dili-duni xacin xacin
持ってきて 船に 四方の縁に 座った 美しい 娘の頭に 種 種の

yilga marxonk bi-ren eskuli gujikuli mangge gujikuli da-xan xung-ni eskuli ayi
花を 沢山 付けて いる。 大変 美しく すごく 美しく なった。 香りが すごく 好い。

(語り終わり、謡い始まり)

xelilala xelila xelilala xelilala la xelilala xelalilala lililala xelilala la xelila
ハリララ ハリラ ハリララ ハリララ ハリラ ラ ハリララ ハラリリラ リリララ ハリララ ラ ハリラ

(謡い終わり、語り始まり)

cukan dilgane-ren keku guangguna duo cu guang gun duo cu nemi xudale-ren
小鳥が 噂る。 カッコウが グアングアンドウチュ グアングアンドウチュ と 鳴く

gujikuli kusun morgen temken tokun-duni te-rgi-re eme sekte marxonk futa-mo
美しい 力持ちの モルゲンは 船の 真中に 座った。 布団 が 多くある。 柳の木を

gaji-xal temken-dulian-duni yiliu-kune-xele ejule edin eme-xen edin-du
持ってきた 船の 真中に 立たせた 東の 風が やって 来た。 風は

sulia-siki fuligui-mi Lasu-le ene-ren
西に向かって 吹き ラスへ 行く

(語り終わり、謡い始まり)

xelilala xelilala xelila xelilala xelei xelilaa xelei xelilala lala xelile
ハリララ ハリラ ハリラ ハリラ ハリラ ハレイ ハリララ ハレイ ハリララ ララ ハリレ

agedene-mi suoxuli-mi niktele-mi yimaci-ni jiari-mi Lasu xotong-dule yisia-xen
喜んで 物語を語り 笑いながら イマカンを謡い 謡いながら ラス 村に 着いた。

xotong gese gulun saktol mangme jap-kala-ni eu-delu-xen
村の 人達は 皆 川の 岸辺に 降りてきた。

ke ke ke ke
カ カ カ カ (聴衆が囁く声)

edin-du fuligui-le sulia-siki ene-re Lasu-le ba-duni ene-ren
風は 吹き 西に向かって 行き ラスへ 行く

xelilala xelila xelilala xelilala
ハリララ ハリラ ハリララ ハリララ

xelilala xelilala xelilala xelila
ハリララ ハリララ ハリララ ハリラ

agdene-mi suoxuli-mi niktele-mi yimaci-ni jiari-mi jiari-mi Lasu xotong-duni
喜んで 物語を語り 笑いながら イマカンを 謳い 謳いながら ラス 村に

eni-ren yisia-mi deriu-xen xelilani xenina xenina Lasu xotong-duni yisia-xen
向かい もうすぐつく。 ハリラニ ハニナ ハニナ ラス 村に 着いた。

Lasu xotong-duni yisia-xen geren gulun saktol eme-xen mangme jap-kala-doni eu-dule-xen
ラス 村に 着いた。 人達は 皆 来た。 川の 岸辺に 降りた。

xeninana xenina mangme jap-kala-duni eu-dule-xen xeninana xeninana
ハニナ ハニナ 川の 岸辺に 降りた。 ハニナ ハニナ

mangme jap-kala-duni eu-dule-xen gujikuli dedu yisia-xani xotong eu-dule-xen
川の 岸辺に 降りた。 美しい 娘は 着いた 村に 降りた。

gulun gujikuli yicile xuli-xeni tuke-le bardi-xeni yilga-keci bi-ren
人達は 美しい娘を 見に 来て 持ち上げる。 成長して 花のよう だ。

bardi-xeni yilga-keci bi-ren tuinami Lasuci-ren⁽⁸⁾ tuinami gelun gulun xesuci-ren
成長して 花のよう だ。 そして ラスの人が そして 人々が 祝う。

saktol gujikuli yilga-keci bi-ren xesuci-ren xesuci-ren
皆 美しい 花の様 だ 祝う。 祝う。

xelilala xenina xe xelilala xelei xelilala xelei xelilala xelei
ハリララ ハニナ ハ ハリララ ハレイ ハリララ ハレイ ハリララ ハレイ

geigen
ゲイゲン

注

- (1) 黒龍江の下流から上流にかけての村と街の地名で、イリガ（撫遠）、センガク（？）、バツアン（八岔）、キンダリ（勤得利）、エト（額団）、デリキ（？）、ガイジン（街津口）、ハイ（哈魚）、ジャリゲイ（？）、モーホン（穆紅洞）、チチハ（齊齊合）、ラス（同江）。
- (2) 後に語り手が挿入。
- (3) 主語は、「娘は」または「父は」と思われる。
- (4) 後に語り手が挿入。
- (5) 後に語り手が挿入。
- (6) 後に語り手が挿入。
- (7) 後に語り手が挿入。
- (8) ren は中国語の「人」か。